



新しいヒーリングガーデンで癒されている患者

メソヂストホスピタル ヒーリングガーデン

アメリカ合衆国テキサス州ヒューストンメディカルセンター地区

設計= TBG Partners(Bill Odle, Meade Mitchell, Jaime Gele, 都田 乙(取締役/景观設計・東京))
写真=都田 乙

The Methodist Hospital, Healing Gaden

Houston Medical Center, Texas USA

Design by TBG Partners(Bill Odle, Meade Mitchell, Jaime Gele, Kinoto Miyakoda
(Director/KEIKAN SEKKEI TOKYO))

Photo by Kinoto Miyakoda



改修前の中庭はモトーンで寂れた空間であった。病棟の大きなレンガの柱はボリューム感があつた



生まれがわつた中庭

このヒーリングガーデンは、アメリカ合衆国ヒューストンメディカルセンター地区の中心部に計画された。築40年以上の既存病棟に挟まれた中庭は、周りの構造物に圧迫され、空間としてのバラエティに乏しく、暗く殺伐とした空間であった。このリノベーション(改修)計画では、患者やその家族、そして地域住民の誰もがアクセスできるアーバンスペースの中の「癒し空間」を目指した。

設計上の工夫は、①日陰に強く、香りや色彩などの癒しの効果がある多種多様な植栽を用いた。②日照が十分でないため人工芝で緑を、モザイクタイルや自然石などの材料で色彩豊かで生き生きとした空間に甦らせた。③中央部の青色ガラスを含んだコンクリート舗装と入口の噴水は、外部の人々にも、その動線や視線が自然に中庭に向かうような工夫である。④それぞれ異なるサイズと高さを持つステンレスのつる棚は、地下薬局からの通気口でもあり、土厚の制限により樹木の植栽が

困難であった中庭では上下方向の緑の変化となっている。

上記の要素を効果的に配置・デザインすることで透き通るような清しいセラミックガーデンに創りかえ、成熟社会における医療施設の新たなランドスケープ空間のスタイルの提案を試みた。このヒーリングガーデンを先駆とし、メディカルセンター地区に様々な中庭空間が創られていけばと考えている。

今日、急速な高齢化が進む日本でも、医療施設の中庭や公共空間などで「ヒーリングガーデン」の役割は大きい。シニアハウスなどの需要も増える中、このヒーリングガーデンのように自然や外とのつながりを感じることができ、コミュニケーションの場ともなる「癒しの空間」が広く創られることを望んでいる。

文=都田 乙(TBG Partners(取締役/景观設計・東京))

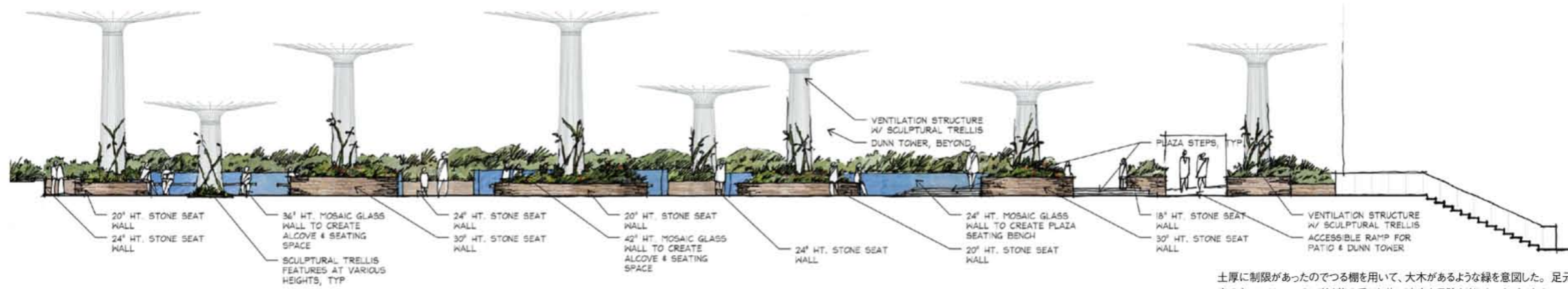
Located in Houston Medical Center district, U.S., this courtyard and hospital were constructed more

than 40 years ago. The purpose of this renovation project was to revitalize the dim and desolate courtyard as a "Healing Garden", open to the public including patients and their family.

Design principles include the use of 1) A variety of shade tolerant shrubs and groundcovers with sensory healing effects. 2) Materials such as blue mosaic tiles, natural stones and synthetic lawn (due to lack of sunlight) to provide vivid colors. 3) A blue glass exposed aggregate concrete and fountain at the entrance gate to draw people's visual attention and naturally navigate them into the garden. 4) Stainless steel vine trellises of different heights and sizes functioned as ventilation air intakes for the underground pharmacy.

This garden proposes a new style of public spaces for medical facilities. The role of "Healing Garden" in Japan will become more significant as we develop spaces meeting the needs of a rapidly aging society, providing a place for people to communicate and reconnect to nature.

Text by Kinoto Miyakoda
(TBG Partners(Director/KEIKAN SEKKEI TOKYO))



土厚に制限があったのでつる棚を用いて、大木があるような緑を意図した。足元に座る人々には、つるに咲く花の香りと共に適度な日陰を楽しむことができる



中庭の平面図



柱のディテール



スカルプチャルな影



夜景



大きすぎる病棟の柱にはレンガの上からナチュラルストーンを貼り、タイルのスリットを設け、ヒューマンスケールを出す工夫をした



噴水は舗装パターンにあわせて水の高さも変化するようデザインした。内部を流れる滝は道路側からの騒音を打ち消す効果も狙った



完成したヒーリングガーデン

メソヂストホスピタル ヒーリングガーデン

所在地 アメリカ合衆国テキサス州ヒューストンメディカルセンター地区
用途 ヒーリングガーデン、病院の中庭、アーバンポケットプラザ
設計 TBG Partners
(Bill Odle (ヒューストンオフィス所長)、Meade Mitchell (ヒューストンオフィス プリンシパル)、Jaime Gele (アソシエイト)、都田 乙 (取締役 景観設計・東京、TBG Partners ディレクター))
規模 敷地面積約 1,125 m²
竣工 2009 年春
仕様 舗装:スタンプコンクリート、青色ガラスパウダーミックスコンクリート、人工芝 壁:自然石ベニヤ、モザイクタイル、プレキャストコンクリート、取り付けカスタムウッドベンチ サイン: 3Form プラスチックパネル サイトファニチャー:取り付けカスタムウッドベンチ、スチールベンチ つる棚:ステンレススチール 噴水:自然石ベニヤ、モザイクタイル、ペブルビーチストーン、ステンレススチール